

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	大学間連携共同教育推進事業	担当部局庁	高等教育局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度・平成28年度	担当課室	大学振興課大学改革推進室	大学振興課長 池田貴城			
会計区分	一般会計	施策名	IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定) 「学士課程教育の構築に向けて」(平成20年12月24日中央教育審議会答申) 「中長期的な大学教育の在り方に関する第一次報告」(平成21年6月15日中央教育審議会大学分科会)・「中長期的な大学教育の在り方に関する第三次報告」(平成22年1月29日中央教育審議会大学分科会)・「第5期・中央教育審議会大学分科会の審議経過と更に検討すべき課題について」(平成23年1月19日中央教育審議会大学分科会)・「中央教育審議会大学分科会のこれまでの主な論点について」(平成23年8月24日中央教育審議会大学分科会)・「予測困難な時代において生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ(審議まとめ)」(平成24年3月26日中央教育審議会大学分科会大学教育部会)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国公立の設置形態を超え、地域や分野に応じて大学間が相互に連携し、社会の要請に応える共同の教育・質保証システムの構築を行う優れた取組を選定し、重点的な財政支援を行うことにより、教育の質の保証と向上、強みを活かした機能別分化を推進する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	大学、短期大学、高等専門学校同士が学長等のリーダーシップの下、以下の視点を踏まえ、地域や分野に応じて相互に連携する取組を支援する。支援期間は最大5年間。(定額補助:100/100) ・使命の明確化:自らの強みを活かし、これからの社会に如何なる人材を養成・輩出するか、使命を明確に示す。 ・教育改革:大学の垣根を超え、社会の多様な課題を解決に導く学位課程を構築する。 ・社会との協働:学生を送り出す地域や分野に関わるステークホルダー(自治体、学協会等)と課題を共有、協働し、構想から実行、評価までを実施する体制を構築する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算	-	-	-	3,010	3,008
		繰越し等	-	-	-	-	
		計	-	-	-	3,010	3,008
	執行額	-	-	-			
	執行率(%)	-	-	-			
	成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度
プログラムに参加する学生数		成果実績	人	-	-	-	1800
		達成度	%	-	-	-	
ステークホルダーも参画した教育の外部評価・相互評価体制の構築件数		成果実績	校	-	-	-	100
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	新規選定件数	活動実績 (当初見込み)	件	-	()	()	(45)
	本事業に参加する大学等の数	活動実績 (当初見込み)	校	-	()	()	(135)
	協働するステークホルダーの数	活動実績 (当初見込み)	団体	-	()	()	(90)
	単位互換実施大学数(選定校)	活動実績 (当初見込み)	校	-	()	()	(135)
	単位当たりコスト	65,400千円(千円/件)	算出根拠	単位当たりコスト =24年度予算額(2,943,000千円)/新規選定予定件数(45件) ※審査等経費、事務費を除く			
平成24・25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	大学改革推進等補助金	2,943百万円	3,000百万円				
	審査等経費	57百万円	0				
	大学改革推進等補助金事務費	10百万円	8百万円				
	計	3,010百万円	3,008百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・教育振興基本計画及び中央教育審議会答申等において、地域や分野に応じて大学が相互に連携し、社会の要請に応える教育・質保証システムを構築する取組について支援する必要性が示されており、国が実施すべき優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	利用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	国公立大学を通じた競争的環境の下、複数の大学が連携することにより、一大学ではなしえない高度な共同教育と質保証システムの構築する取組を選定・支援しているため、実効性の高い事業となっている。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名 ー	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・各大学が自らの強みを持つ分野へ取組を集中・強化するとともに、他大学との連携を進めることによって、大学教育全体としてより多様で高度な教育を展開することが期待される。 ・本事業では社会の要請に応える共同の教育・質保証システムを構築する教育改革を行う取組を対象とするものであり、実施内容は広く国民のニーズを反映するものとなる。		
予算監視・効率化チームの所見			
	本事業は、現時点で執行面における課題も生じていない。また、成果目標及び活動指標も立てられていることから、適切な事業と認められる。引き続き迅速かつ適切な予算執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
【ホームページ】 http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/renkei/index.htm			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

大学間連携共同教育推進事業

文部科学省
3, 010百万円

- ・諸謝金:0. 3百万円
 - ・職員旅費:0. 9百万円
 - ・委員等旅費:0. 6百万円
 - ・庁費:8. 2百万円
- を含む。

地域や分野に応じて大学が相互に連携し、社会の要請に応える教育・質保証システムを構築する取組を選定・支援

【公募・補助】

A. 大学、短大、高専
(全45機関)
2, 943百万円

教育課程の体系化、共同プログラムの構築、組織的な教育の実施、教学ガバナンスの強化、教育の質保証の確立等の取組を実施。

【補助】

B. 独立行政法人
日本学術振興会
57百万円

事業の評価等を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.大学、短大、高専			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	大学間連携共同教育推進事業(45件)	2,943			
計		2,943	計		0
B.(独)日本学術振興会			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	評価等経費	57			
計		57	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0